東北地方 1か月予報

(4月13日から5月12日までの天候見通し)

平成25年4月12日 仙台管区気象台発表

<特に注意を要する事項>

期間前半は気温がかなり低くなる可能性があります。

<予想される向こう1か月の天候>

向こう 1 か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

東北日本海側では、天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ曇りや雨または雪の日が多いでしょう。東北太平洋側では、天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が少ない見込みです。向こう1か月の平均気温は、低い確率50%です。降水量は、平年並または多い確率ともに40%です。日照時間は、平年並または少ない確率ともに40%です。

週別の気温は、1週目は、低い確率50%です。2週目は、低い確率60%です。

< 向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>

「気温] 東北地方 50 20 30 [降水量] 東北地方 20 40 40 [日照時間] 東北地方 40 40 20 低い(少ない) 平年並 高い(多い)

<気温経過の各階級の確率(%)>

[1週目] 東北地方 50 10 40 [2週目] 東北地方 60 10 30 [3~4週目] 東北地方 30 40 30 低い 平年並 高い

<予報の対象期間>

1 か月 : 4月13日(土)~ 5月12日(日) 1 週目 : 4月13日(土)~ 4月19日(金) 2 週目 : 4月20日(土)~ 4月26日(金) 3~4週目 : 4月27日(土)~ 5月10日(金)

<次回発表予定等>

1か月予報:毎週金曜日 14時30分 次回は4月19日

3か月予報:4月25日(木) 14時

<参考資料(平年並の範囲等)>

(1)30年平均値(向こう1か月の平均気温、降水量、日照時間と1週目、2週目、3~4週目の平均気温)

	気 温	降水量	日照時間	気 温()		
	()	(mm)	(時間)	1 週目	2 週目	3 ~ 4 週目
青森	10.5	74.2	189.6	8.4	9.7	11.7
深浦	10.5	107.1	177.3	8.6	9.7	11.6
むつ	9.4	94.2	191.8	7.4	8.7	10.6
八戸	10.5	74.3	192.3	8.4	9.8	11.7
秋田	11.7	123.8	171.2	9.7	10.9	12.8
盛岡	11.0	102.1	177.2	8.6	10.1	12.2
大船渡	11.2	154.4	174.4	9.2	10.5	12.2
宮古	10.7	102.4	183.1	8.7	10.0	11.7
仙台	12.4	102.0	183.5	10.4	11.6	13.5
石巻	11.4	96.1	188.8	9.4	10.6	12.4
山形	12.6	72.7	181.7	10.2	11.8	14.0
新庄	11.1	105.2	164.7	8.6	10.3	12.5
酒田	12.4	117.8	178.3	10.3	11.5	13.5
福島	13.8	83.6	183.3	11.5	13.0	15.1
若松	12.6	68.9	181.2	10.2	11.7	14.0
白河	12.3	101.4	178.3	10.1	11.5	13.5
小名浜	13.0	131.8	184.8	11.3	12.4	13.9

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の 範囲を参考にして下さい。

(2)1981 ~ 2010年のデータに基づいた向こう1か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差(比)の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.2 ~ +0.4	84 ~ 119	96 ~ 106
東北日本海側	-0.3 ~ +0.4	88 ~ 114	95 ~ 106
東北太平洋側	-0.2 ~ +0.5	77 ~ 118	95 ~ 106

(3)この予報期間の1週目、2週目、3~4週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3 ~ 4 週目
東北地方	-0.8 ~ +1.0	-0.6 ~+0.8	-0.2 ~ +0.7
東北日本海側	-0.8 ~ +0.9	-0.7 ~ +0.7	-0.3 ~ +0.7
東北太平洋側	-0.8 ~+1.1	-0.6 ~ +0.8	-0.2 ~ +0.7

<参考資料(利用上の注意)>

- (1) 気温(降水量)等は、「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の3つの階級で予報します。階級の幅は、1981 ~ 2010年の30年間における各階級の出現率が等分(それぞれ33%)となるように決めてあります(気候的出現率と呼びます)。
- (2)予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった 10%以下や 60%以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。
- 出現率と同じかそれと同程度(30%、40%)の確率しか付けられません。 (3)晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い(少ない)場合は「平年に比べて多い(少ない)」、また平年の日数と同程度に多い(少ない)場合には「平年と同様に多い(少ない)」と表現します。なお、単に多い(少ない)と表現した場合には対象期間の2分の1より多い(少ない)ことを意味します。

東北地方 1か月予報解説資料

平成25年4月12日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう1か月(4月13日~5月12日):

天気は数日の周期で変わりますが、寒気や低気圧の影響を受けやすいでしょう。東北日本海側では平年に比べ曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側では平年に比べ晴れの日が少ない見込みです。期間前半は気温がかなり低くなる可能性があります。

向こう1か月の平均気温は、低い確率50%です。降水量は、平年並または多い確率ともに40%です。日照時間は、平年並または少ない確率ともに40%です。

1週目(4月13日~4月19日):

気圧の谷の影響で雲が広がりやすく、雨か雪の降る所がありますが、期間のはじめは晴れる日もあるでしょう。

気温は、低い確率50%です。

2週目(4月20日~4月26日):

寒気や低気圧の影響を受けやすく、平年に比べ曇りや雨の日が多く、雪の降る所もあるでしょう。

気温は、低い確率60%です。

3~4週目(4月27日~5月10日):

高気圧や低気圧が交互に通り、天気は数日の周期で変わるでしょう。東北太平洋側では平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

気温は、各階級の確率の偏りは小さい。

主な気象官署の、向こう4週間の平年の天気出現日数(日)

青	森	秋	田	盛	岡	仙	台	山	形	福	島
晴れ	降水										
16.3	8. 9	14.7	10.6	15.2	9. 9	15.7	7. 7	15.4	8. 0	16.0	6. 9

晴れ日数は「日照率 40%以上の日数」、降水日数は「日降水量 1mm 以上の日数」。

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と予測資料

地域平均気温平年差の予測資料では、週別の平均気温は、1週目、2週目は平年を下回り、3~4週目は平年付近の予想となっている。

東北 地方 地域平均気温平年差 実測値 ┩予測値 5 4 3 気 2 温 1 0 年 差 -1 (°C) -2 -3 -4 -5 3/23 3/30 4/6 4/13 4/20 4/27 5/4

- グラフの値は全て7日間平均値であり、横軸の値は平均期間の中日。
- 予測期間には7日間平均気温の予想に対する信頼の程度が40%の幅(濃い陰影の範囲)と、信頼の程度が70%の幅(濃い陰影と薄い陰影の範囲)を表示。
- ・ 水平な3本の実線は、予報期間の1週目、2週目、3~4週目の平均を表す。
- ハッチの期間は、発表日の観測値が確定していないため、観測値と予測値に基づいて結んでいる。

3. 1か月平均と1. 2週目の上空の大気の流れの予想(500hPa 予想天気図)

1か月平均:ベーリング海と中央シベリアで明瞭な正偏差、日本付近は負偏差となる。ベーリング海にブロッキング高気圧が形成され、日本付近に寒気が留まりやすい予想。期間前半に寒気の影響を受け、東北地方の気温は低い見込み。低気圧の影響を平年より受けやすく、降水量は多い傾向。

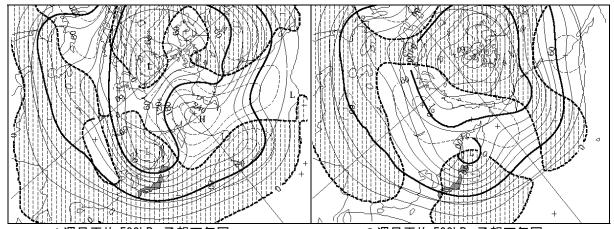
1週目:ベーリング海で明瞭な正偏差、沿海州から日本付近にかけて明瞭な負偏差となる。北日本には強い寒気が南下する予想で、東北地方の気温は低く、寒気や低気圧の影響で曇りや雨の日が多く、雪の降る所もある見込み。

2週目:ベーリング海から東シベリアにかけて正 偏差が広がり、日本付近の負偏差は続く。日本付近に第5が紹まりやする。東北地方の気温はかな

1 か月平均 500hPa 予想天気図

図の見方は1,2週目と同じ。ただし偏差の間隔は30m。

近に寒気が留まりやすく、東北地方の気温はかなり低くなる可能性がある。



1 週目平均 500hPa 予想天気図

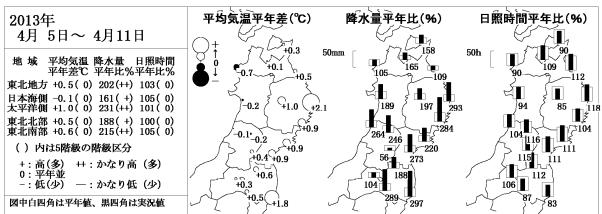
2週目平均 500hPa 予想天気図

実線は等高度線(間隔 60m)、点線は偏差(間隔 60m)。陰影部は負偏差で一般に寒気に対応し、白抜きは正偏差で一般に暖気に対応する。

4. 最近1週間(4月5日~4月11日)の天候の経過

期間の前半は高気圧と低気圧の影響を交互に受けたが、期間の後半は上空に寒気を伴った低気圧が沿海州に停滞したため日本付近を気圧の谷が次々と通過した。天気は短い周期で変わり、寒暖の変動が大きかった。6日から8日にかけては低気圧が発達しながら本州に沿って北上したため各県で大雨となり、7日は福島県で日降水量が100mmを超えた所があった。また、8日は東北太平洋側を中心に風が強まり、大船渡では4月の日最大風速の極値を記録した。

平均気温は平年並。降水量は東北日本海側で多く、東北太平洋側でかなり多い。日照時間は平年並。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差(比)